

新規事業箇所調書

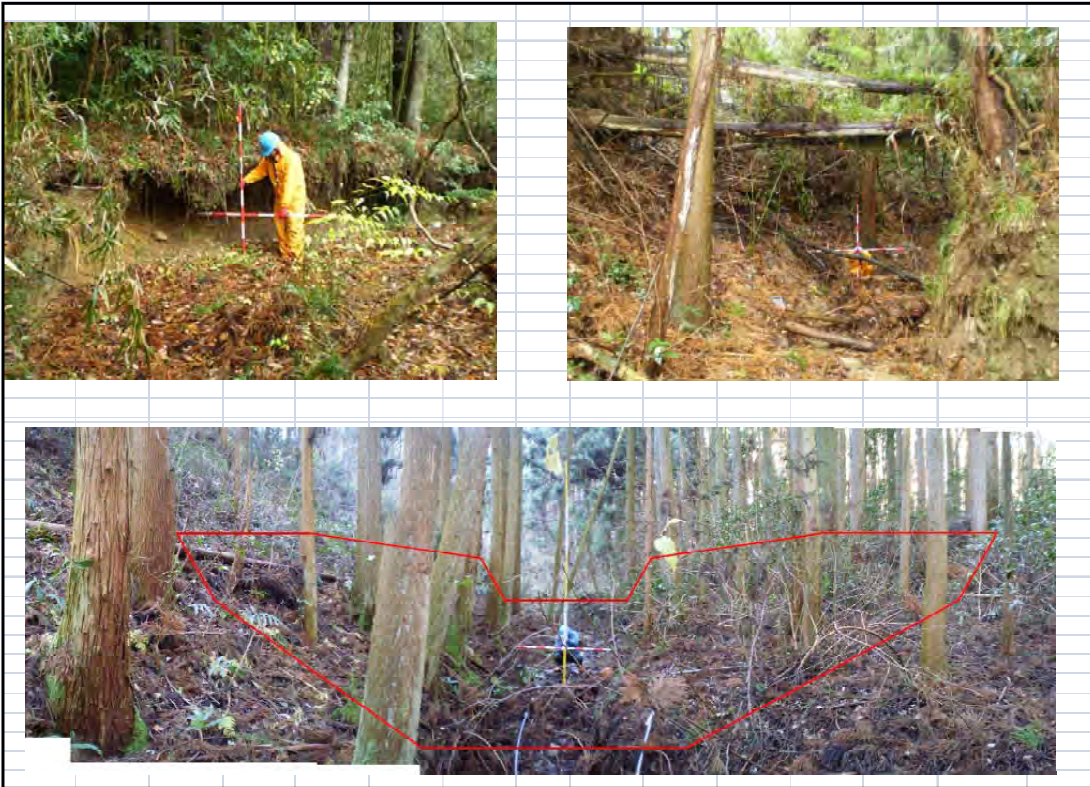
		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																				
		事業担当課		森林整備課																				
事業名	予防治山事業（平場沢） <small>ひらばさわ</small>	補助・単独の別	補助	事業主体	県																			
施行地名	亶理郡亶理町長瀬字泉地内 <small>わたりがんわたりちやうながとらあざいづみ</small>			管理主体	県																			
根拠法令	森林法																							
事業概要	事業目的	<p>当該地は、宮城県南部の亶理郡亶理町西部に位置し、平成18年9月等の度重なる降雨の影響で、下流域への土砂の流出が発生している。その後も溪流内の所々で溪床及び溪岸の浸食が進んでおり、山腹の崩壊や倒木を引き起こしている。さらに、溪流内には不安定な堆積土砂が存在し、今後の降雨等の影響により、周辺への被害拡大が懸念されている。</p> <p>そのため、荒廢溪流内に谷止工を計画し、山脚の固定や溪床勾配の緩和、不安定土砂の流下防止を図る。</p>																						
	事業内容	治山ダム 4基																						
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ()</th> </tr> <tr> <td>内用地費</td> <td>[50 %]</td> <td>[50 %]</td> <td>[- %]</td> <td>[- %]</td> </tr> <tr> <td>0.25億円</td> <td>— 億円</td> <td>0.125億円</td> <td>0.125億円</td> <td>— 億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ()	内用地費	[50 %]	[50 %]	[- %]	[- %]	0.25億円	— 億円	0.125億円	0.125億円	— 億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他 ()																				
内用地費	[50 %]	[50 %]	[- %]	[- %]																				
0.25億円	— 億円	0.125億円	0.125億円	— 億円																				
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度（1年間）</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成—年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成23年度（1年間）			用地買収着手予定年度	平成—年度	工事着手予定年度	平成23年度												
事業期間	平成23年度（1年間）																							
用地買収着手予定年度	平成—年度	工事着手予定年度	平成23年度																					
施設管理の予定	県が維持管理を行う。																							

事業の必要性	上位計画等	<p>治山事業は、森林法に基づく「森林保全整備事業計画」により、豪雨等による山地災害を防止するとともに、これによる被害を最小限にとどめ地域の安全性の向上に資するため、保治山施設の設置と機能が低下した保安林の整備等を推進することとしている。</p> <p>県においても、「治山事業実施方針」により山地災害の復旧及び未然防止に努めることとしており、本地区で指定された山地災害危険地区での治山対策を推進している。</p>
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>* 災害発生時の影響 保全対象：人家52戸，公道3,000m，農地等18.0ha，ため池2箇所</p> <p>* 過去の災害実績 近年の度重なる豪雨等により，本地区から流下した土砂により満砂状態となった下流の治山施設で土砂が越流し，下流域の農地等に影響を及ぼす等している。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>* 地域の協力体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元自治体による山地防災パトロール等の実施 ・ 土砂流出防備保安林指定予定地 ・ 山地災害危険地区（崩壊土砂流出危険地区）指定地
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>治山ダムの設置により，荒廃のきざしのある溪流に存する不安定土砂を固定，森林の機能強化を図ることにより，山地に起因する災害から直下の保全対象範囲の生命・財産などが保全される。</p>

事業の効	関連事業の概要・進捗状況等		
		特になし。	
	代替案との比較検討	<p>荒廃のきざしのある溪流の溪床に堆積した不安定土砂の移動及び流下を抑制するため、これら抑止機能を高度に発揮する治山ダムを採用している。</p>	
の	コスト縮減計画	<p>治山ダムの設置予定箇所において浅い表層に覆われた岩盤が確認した場合には堤体と間詰を同時打設する等、詳細調査結果に応じて積極的なコスト縮減を検討する。</p>	
率	費用対効果	<p>根拠マニュアル：林野公共事業における事前評価マニュアル（平成22年3月） 社会的割引率： 4 % 便益算定期間： 50 年 基準年：平成23年</p>	
性	費用項目	建設費	23,558千円
		維持管理費	
		総費用	23,558千円
		現在価値（C）	23,558千円
	便益項目	水源かん養便益	3,237千円
		災害防止便益	402,875千円
		総便益	406,106千円
		現在価値（B）	406,106千円
		費用便益比（B/C）	17.24

環境への影響と対策	地域指定状況等										
		特になし。									
環境への影響と対策	影響と対策										
		事業の実施に当たっては、治山ダム設置予定箇所隣接する林業用作業道を最大限に活用し、新たな仮設道の開設等を行わない等、土工による生産土砂を必要最小限抑制する計画としている。									
総合評価	事業箇所評価結果										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評点による順位</th> <th style="width: 20%;">予算化された箇所数</th> <th style="width: 65%;">評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">予防治山事業（新規事業箇所）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1位 / 7</td> <td style="text-align: center;">6箇所</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	予防治山事業（新規事業箇所）			1位 / 7	6箇所	—
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
	予防治山事業（新規事業箇所）										
1位 / 7	6箇所	—									
総合評価	対応方針										
		事業実施									

現況写真



- ※1 (上) 不安定土砂が堆積しているとともに、溪岸侵食により立木が倒れており、将来土砂及び倒木が下流に流下する恐れがある。
 (下) 不安定土砂の発生源となる崩壊した山腹状況。治山ダム設置により不安定土砂の固定を図り、山腹の拡大崩壊を防止する。

治山ダム構造図

